

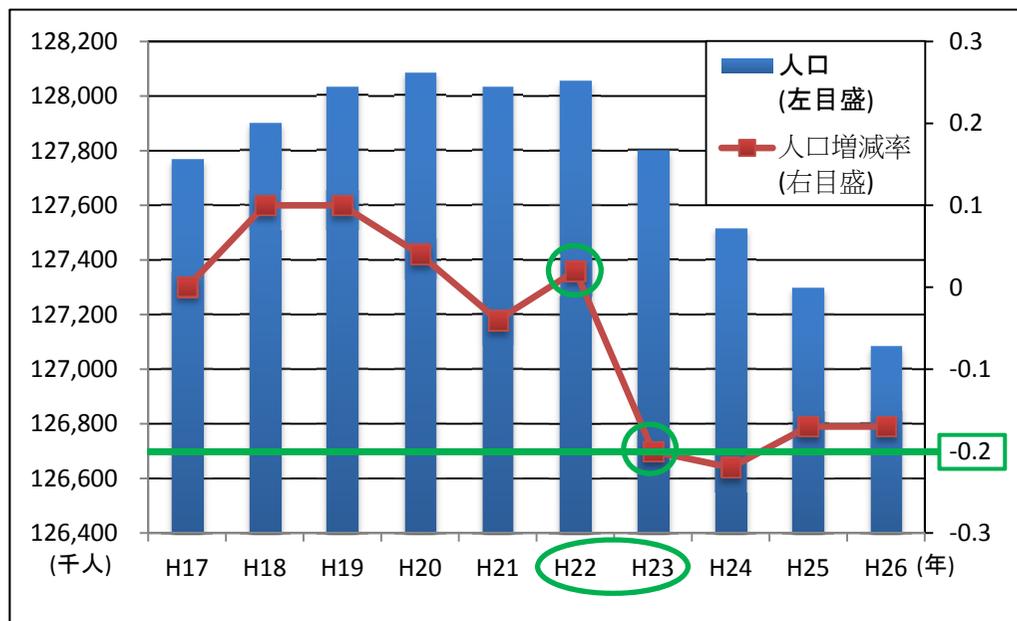


実施主体や連携体制にみる移住支援の取り組みに関する研究  
—大分県国東市, 津久見市, 豊後高田市3市の比較による現状分析—

大分大学 建築・都市計画研究室  
4年 原田 涼平

## 背景・目的

我が国の人口は平成22年と平成23年を境に、毎年約**-0.2%**の割合で減少  
特に、この傾向は地方都市において顕著に見られている



### 主な原因

若者の首都圏への流出，少子高齢化の進行，産業衰退



このような状況から、  
**近年地方への移住**について関心が高まっている

## 背景・目的

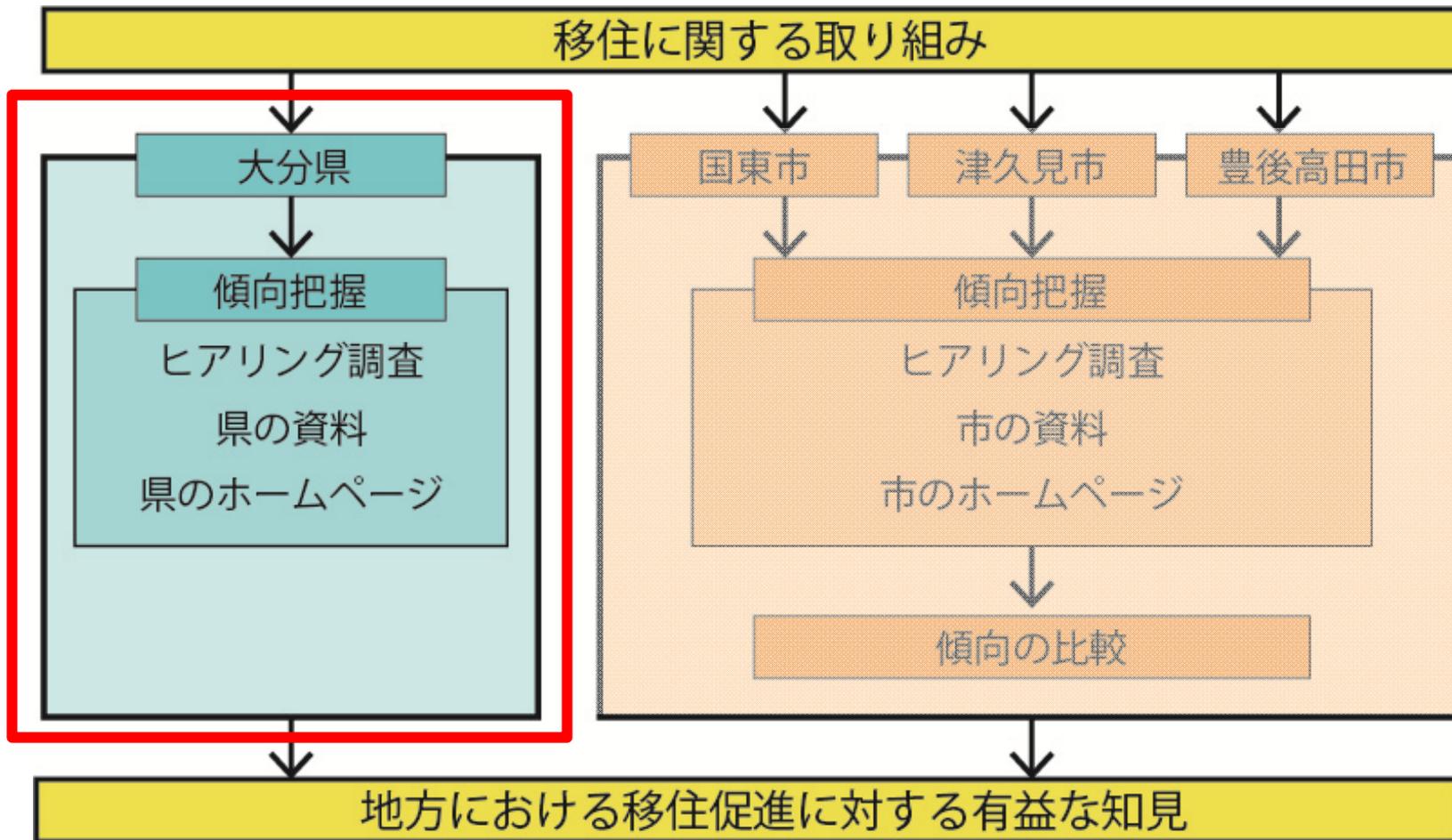
移住についての関心度である  
「住みたい田舎ベストランキング」  
過去3年間の総合評価トップ10に  
大分県が最も選出

移住支援を行っている  
認定NPO法人ふるさと回帰支援  
センターと県内市町村**全て**が  
協力関係にある

大分県は移住先として**注目**されており、移住促進に**意欲的**である

大分県で行われている移住に関する取り組みの比較により  
**地方における移住促進に対する有益な知見を得る**  
ことを目的とする

# 研究方法



## 選定理由

移住政策に**積極的**: 国東市・豊後高田市  
移住政策に**近年取り組み始めた**: 津久見市

# 大分県の移住に関する取り組み

大分県庁地域活力応援室へのヒアリング調査より作成

大分県が実施した、移住に関する取り組みの表

		年度	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27
概要		移住施策を 活用した移住者数(人)	54	136	186	286	292	212
		相談件数(件)	107	197	198	161	209	517
		予算額(万円)	435	374	398	398	398	6,800
事業内容	体制整備	移住促進会議の実施	○	○	○	○	○	○
		東京に相談窓口の設置	—	—	—	—	—	○
		県庁に移住サポーターの設置	—	—	—	—	—	○
		大分暮らしアドバイザーの設置	○	○	○	○	○	○
	相談会	大分暮らし塾の開催	—	—	○ (3回)	○ (3回)	○ (3回)	○ (19回)
		全国移住イベントへの参加	○	○	○	○	○	○
	情報発信	ホームページでの情報発信	○	○	○	○	○	○
		若者向け雑誌に記事広告掲載	—	—	—	—	—	○
		福利厚生事業者の会員向けに広告掲載	—	—	—	—	—	○
		移住PR動画の作成	—	—	—	—	—	○
		田舎暮らしの本への記事広告掲載	○	○	○	○	○	○
		移住ガイドブックの作製	○	○	○	○	○	○
		大分暮らし体験プログラムの実施	○	○	○	○	○	○

(※平成27年度は11月末時点)

(○:実施, —:未実施, ■:新規)

# 大分県の移住に関する取り組み

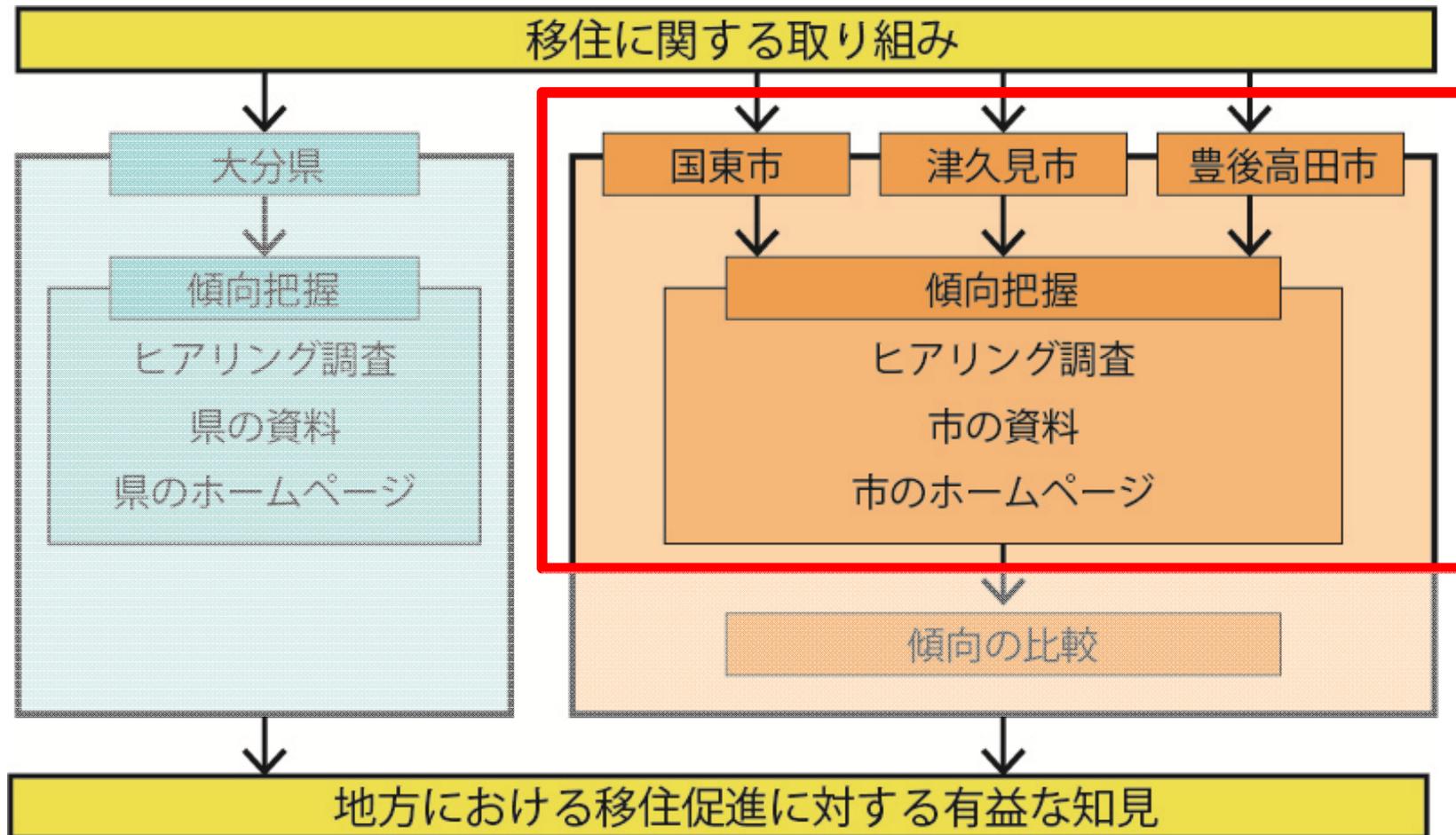
平成27年度から**予算額の増加**による**新規の取り組み**や、**取り組みの拡充**により、**相談件数の増加**

概要		年度	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27
		移住施策を 活用した移住者数(人)	54	136	186	286	292	212
		<b>相談件数(件)</b>	<b>107</b>	<b>197</b>	<b>198</b>	<b>161</b>	<b>209</b>	<b>517</b>
		<b>予算額(万円)</b>	<b>435</b>	<b>374</b>	<b>398</b>	<b>398</b>	<b>398</b>	<b>6,800</b>
事業内容	体制整備	移住促進会議の実施	○	○	○	○	○	○
		<b>東京に相談窓口の設置</b>	—	—	—	—	—	<b>○</b>
		<b>県庁に移住サポーターの設置</b>	—	—	—	—	—	<b>○</b>
		大分暮らしアドバイザーの設置	○	○	○	○	○	○
	相談会	<b>大分暮らし塾の開催</b>	—	—	<b>○ (3回)</b>	<b>○ (3回)</b>	<b>○ (3回)</b>	<b>○ (19回)</b>
		全国移住イベントへの参加	○	○	○	○	○	○
	情報発信	ホームページでの情報発信	○	○	○	○	○	○
		<b>若者向け雑誌に記事広告掲載</b>	—	—	—	—	—	<b>○</b>
		<b>福利厚生事業者の会員向けに広告掲載</b>	—	—	—	—	—	<b>○</b>
		<b>移住PR動画の作成</b>	—	—	—	—	—	<b>○</b>
田舎暮らしの本への記事広告掲載		○	○	○	○	○	○	
移住ガイドブックの作製		○	○	○	○	○	○	
		大分暮らし体験プログラムの実施	○	○	○	○	○	

(※平成27年度は11月末時点)

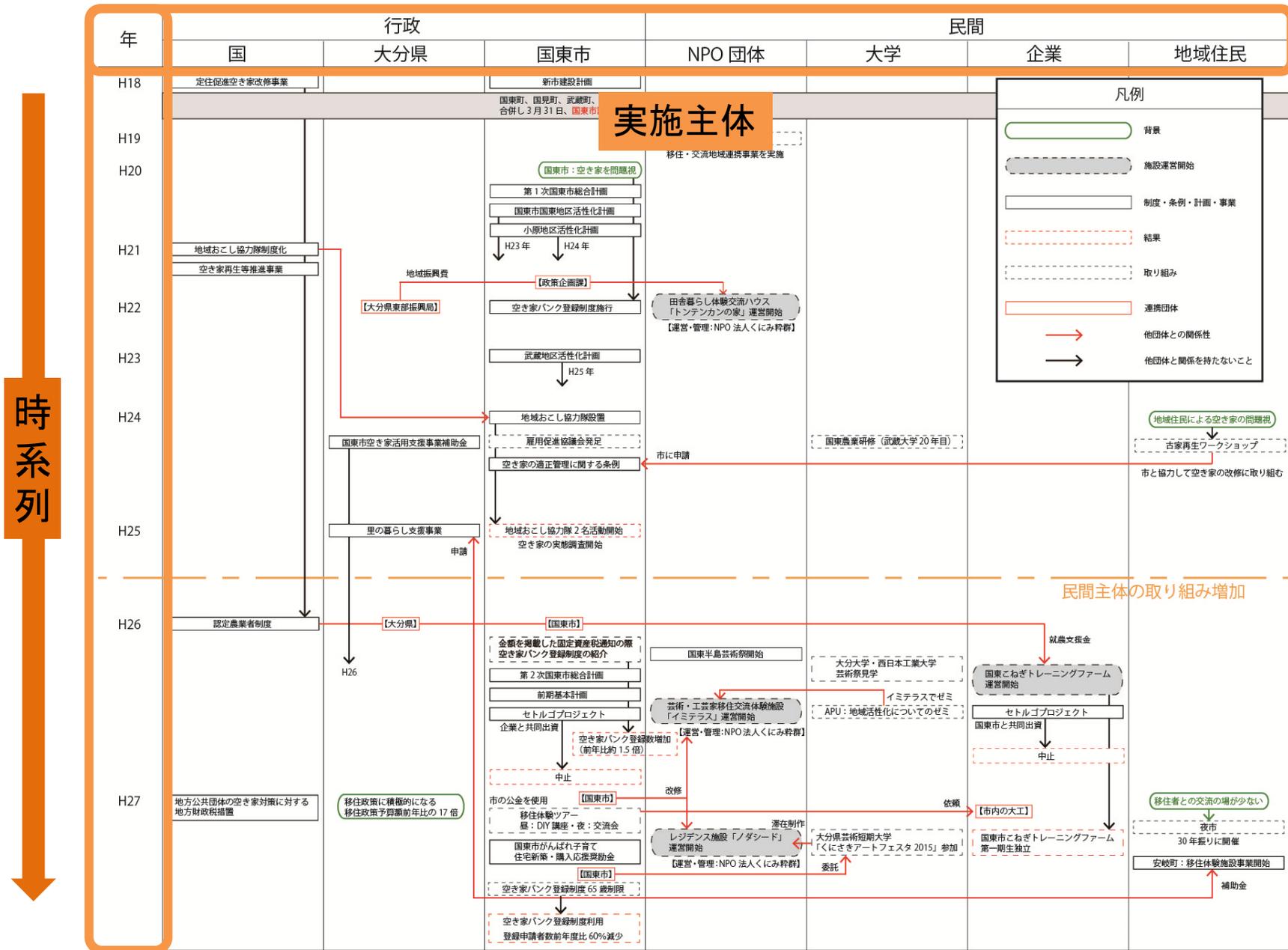
(○:実施, —:未実施, ■:新規)

# 研究方法



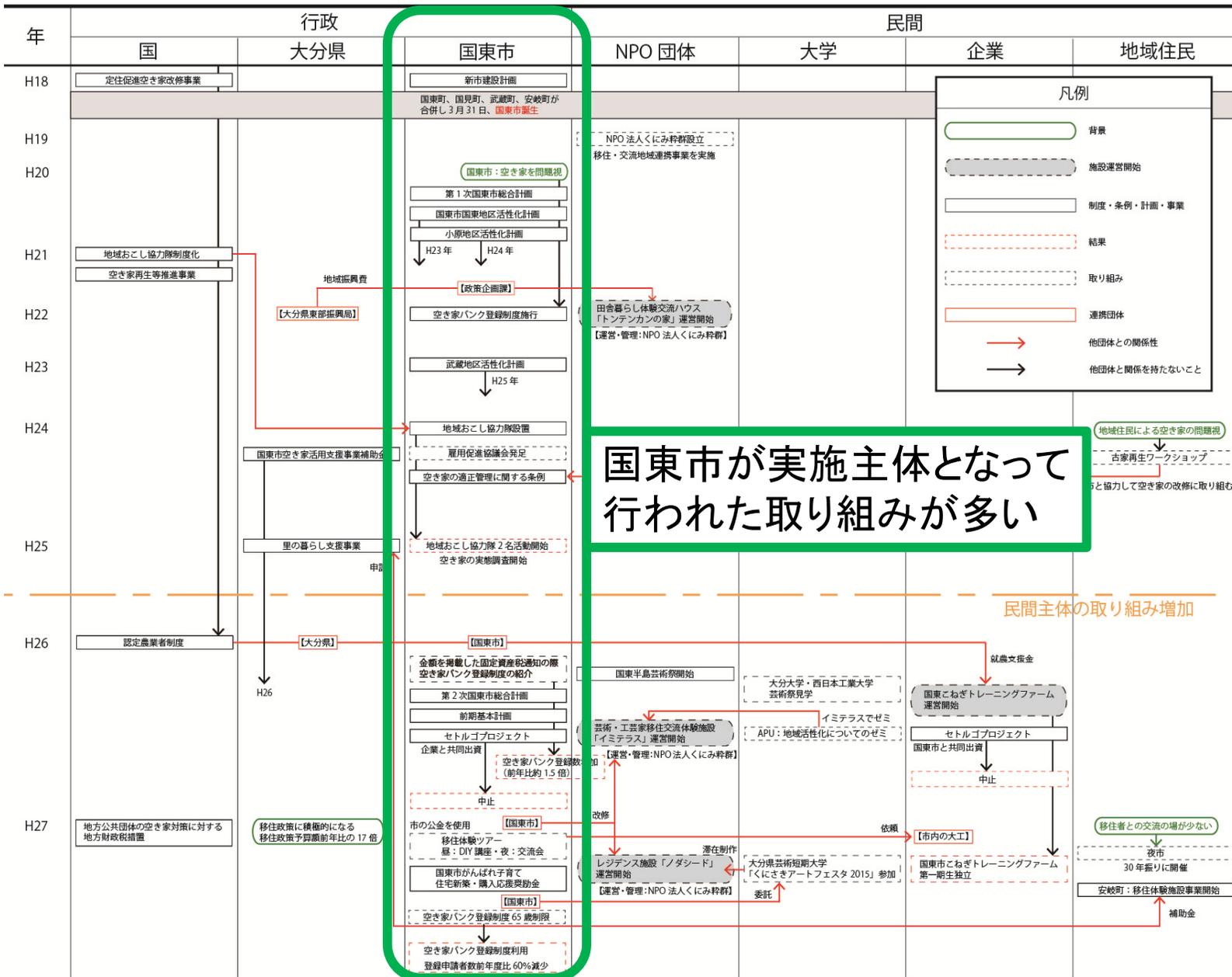
# 各選定市町村の移住に関する取り組み－国東市－

【官】【民】へのヒアリング調査より、移住に関する取り組みの年表を作成



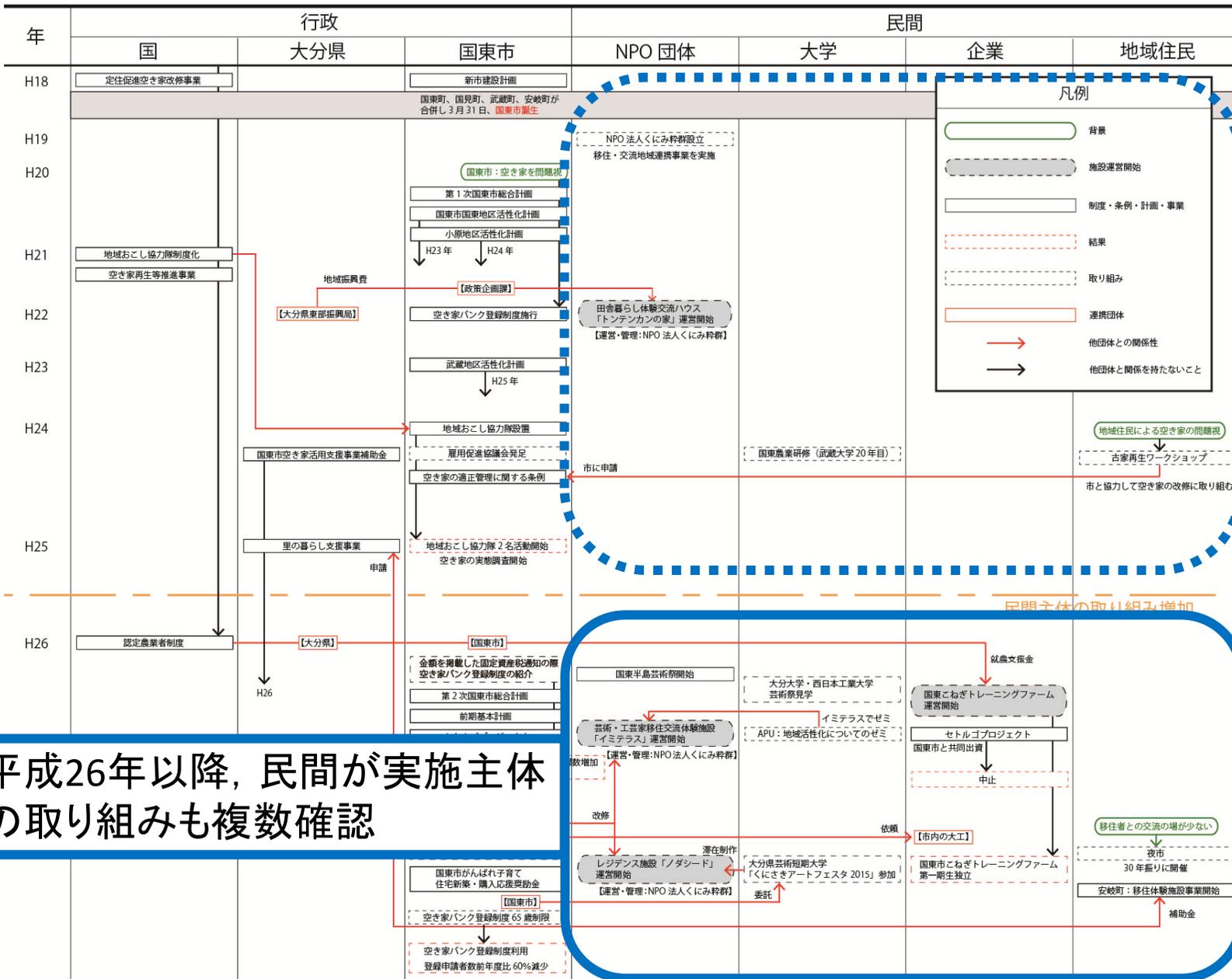
# 国東市の移住に関する取り組み

## 国東市の移住に関する取り組みの年表



# 国東市の移住に関する取り組み

## 国東市の移住に関する取り組みの年表

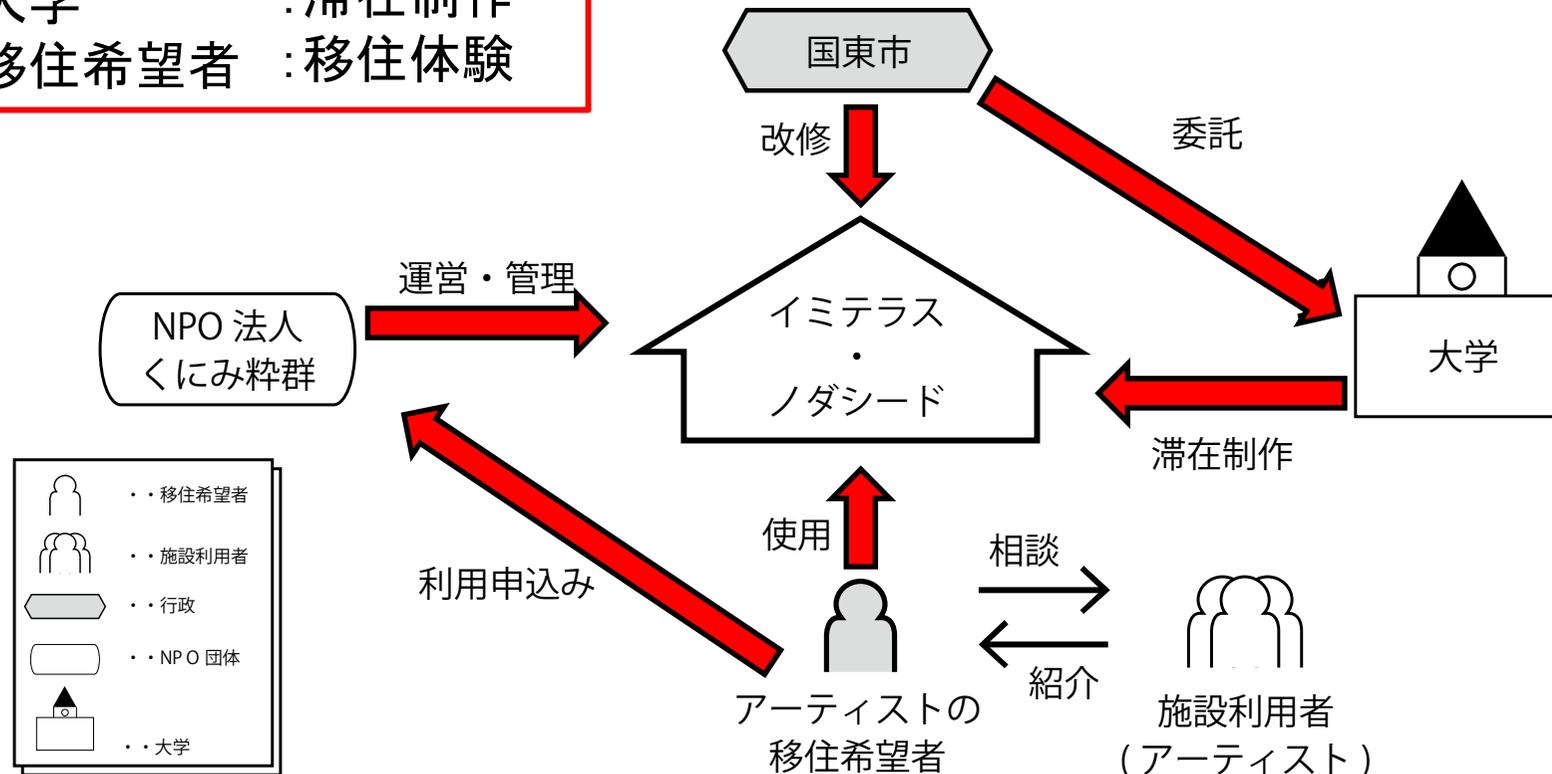


# 国東市の移住に関する取り組み

複数の団体が関わった  
移住促進事例

国東市 : 改修  
NPO法人 : 運営・管理  
大学 : 滞在制作  
移住希望者 : 移住体験

主にアーティストが利用するための移住体験施設である、「イミテラス」や「ノダシード」は、官民の連携により運営が可能となっている

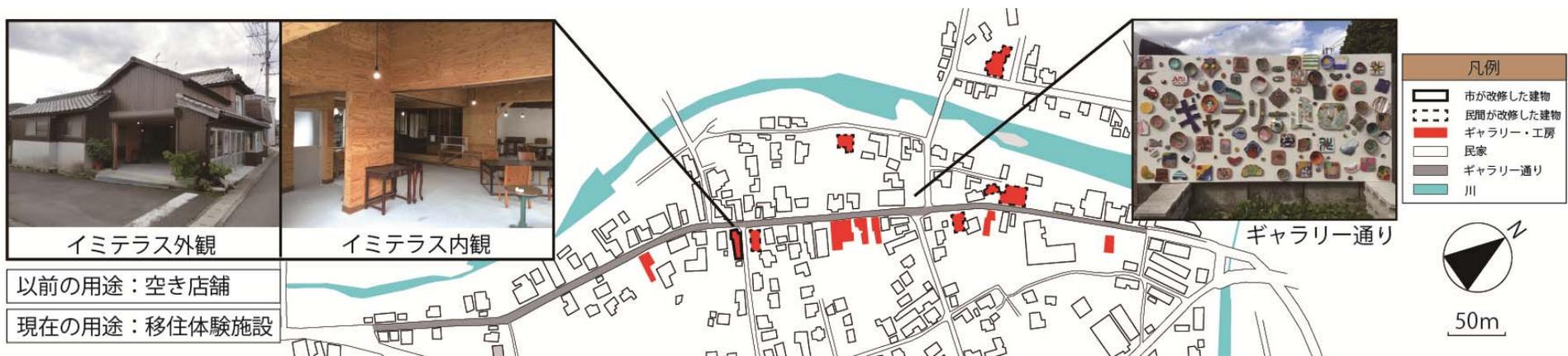


運営モデル図

# 国東市の移住に関する取り組み

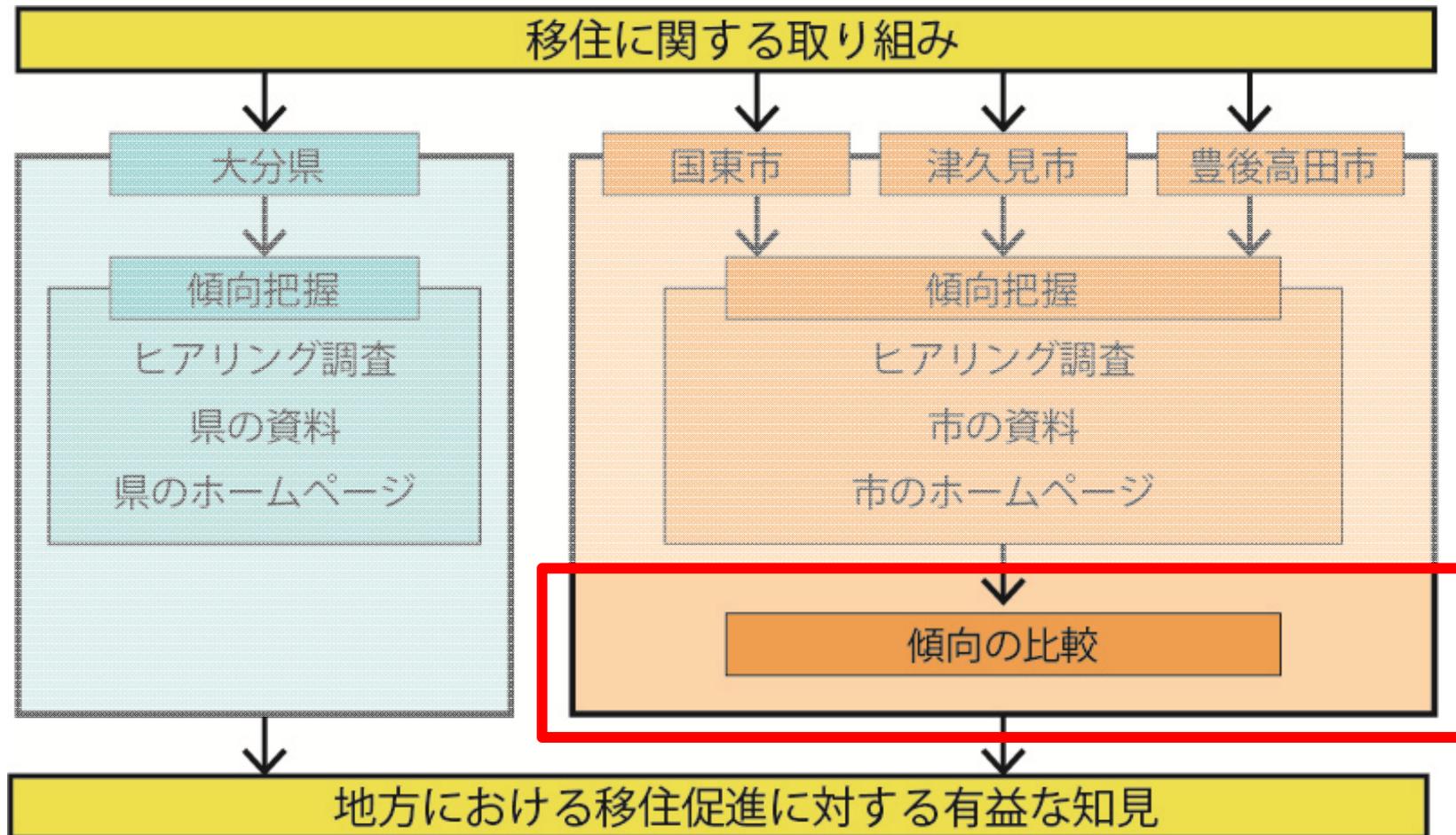
## 「イミテラス」周辺の 建物利用の状況

中央の通りはギャラリー通りと呼ばれ、  
周辺にギャラリーが**官民により**計画的に**集中立地**→**アーティストの活動拠点**



アーティストの居住者が多く、他地域のアーティストが**移住しやすい環境**

# 研究方法



# 各選定市町村の取り組みの比較

各選定市町村の移住に関する取り組みの年表から、  
【実施主体】、【他団体との連携】、【取り組み内容】について分類

【実施主体】		【他団体との連携】			【取り組み内容】						
市町村名	主体	全取り組み	有	無	移住体験	仕事	空き家利用	住宅補助	交流	その他	特徴
	民間団体	8	3	11	65%	5	0				
津久見市	行政	10	8	1	9	90%	1	0	高齢化による柑橘産業の担い手を他県からの移住によって解決する取り組みがみられた		
	民間団体		1	0	1	10%	0	0			
豊後高田市	行政	43	16	25	41	95%	7	1	居住や仕事に関係する、多くの生活に関する金銭補助による取り組みがみられた		
	民間団体		2	0	2	5%	0	1			

合計 割合

※単位はすべて(件)

## 【実施主体】について

国東市(17件):「行政6件, 民間11件」と官民双方が主体  
 津久見市(10件):「行政9件, 民間1件」と行政主体  
 豊後高田市(43件):「行政41件, 民間2件」と行政主体

# 各選定市町村の取り組みの比較

## 【他団体との連携】について

国東市: 12/17件(71%), 津久見市: 9/10件(90%), 豊後高田市: 18/43件(42%)

【実施主体】		【他団体との連携】	市町村名	特徴
市町村名	主体	全取り組み		
国東市	行政 民間団体	17	国東市	空き家改修事例が多く、 <b>工芸や芸術</b> と空き家を関連付けた取り組みがみられた
津久見市	行政 民間団体	10	津久見市	高齢化による <b>柑橘産業の担い手</b> を他県からの移住によって解決する取り組みがみられた
豊後高田市	行政 民間団体	43	豊後高田市	居住や仕事に関係する、多くの <b>生活に関する</b> 金銭補助による取り組みがみられた

また、特徴から

国東市と津久見市は、アーティストや柑橘産業の担い手のように、**的を絞った移住政策**を実施している傾向にある

# 総括

以上のことから、地方における移住促進において、

国東市: 移住先としての拠点  
豊後高田市: 生活環境の支援

**移住する際のハードルを下げる**

ことが効果的

国東市: アーティストの移住  
津久見市: 柑橘産業の担い手の移住

**移住希望者と地域の目的を一致させる**

ことが重要